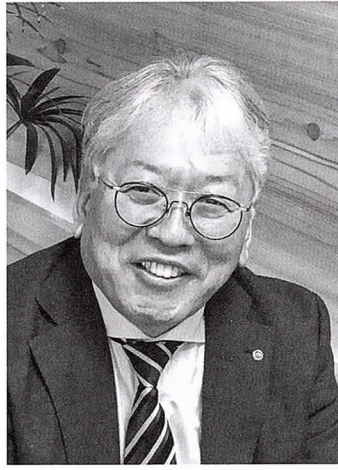


# 暮らし・健康・ 生きがいづくりの年

小菅村長 船木直美



ていただきました。

- 住民が必要としていることをつなげる『かすがい』であること
- 住民一人ひとりの本当の悩みやニーズに気づき、一緒に解決していくこと
- 安心していきいき暮らし続けていける村の『拠り所』へ

という3つの共通認識の下、「こんな社協でありたい」という意見交換が活発に行われました。まさに村が目指す700人の小さな村だからこそできる住民サービスだと感銘を受け、今年の村政の柱として設定いたしました。

●暮らし：それは「人生のそのもの」「生きざま」「個性」であります。この小菅村に住む村民の皆様へ寄り添い、「暮らし」続けていける村づくりを目指してまいります。

●健康：体力はもちろん、心の健康づくりを進め皆様が明るく人生

を送れる村づくりを目指してまいります。

●生きがい：高齢者から子供まで、生きがいを持ち続けながら、この村に暮らし源流文化を大切にすること、延いては多くの村民の皆様への知識や知恵を生かしながらその文化を後世に伝えていくことを目指してまいります。

以上3つの柱を実現するためには、多くの村民の皆様へ小菅村の状況をご理解いただき、更なるご協力をいただく必要があります。村民の皆様一人ひとりが村政へ参画していただき、行政とのより良い関係を構築し、地域の活力を引き出し、村づくりにつなげていきたいと考えております。村民の皆様が、安心して暮らせる1年でありますことをお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

## 今年度の主要事業の進捗状況を申し上げます。

### 公共事業

●簡易水道事業は、昨年全体計画を終え今年度から本格的な工事(橋

立地区の改修・山沢入改修)に入りました。全村の管路の更新を早期に終えるよう計画的に事業を進めてまいります。

●旧診療所2階の村営住宅(2世帯)の改修工事は、発注が終わり本格的な改修工事は1月から始まります。

●林道大丹波峠線の災害復旧工事は昨年度重なる台風の影響で、工事費の増額と工期延期となりましたが、年度内完成を目指し進んでいます。

### 地方創生

地方創生事業の若者住宅2棟(田元・金風呂)、中央公民館1階のフアブラボ事業等、順調に事業展開を行っております。いよいよ地方創生事業もまとめの時期となり来年度は最終年度となるため、今までの事業の総まとめと新たな事業を見据えてまいります。

### 来年度に向けて

平成31年度の当初予算につきましては2月中には編成したいと考えています。地方創生事業や簡易水道整備を主体に特色ある村づくりを進めてまいります。

新年あけましておめでとうございます。日頃から、村民の皆様には村政運営に多大なご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。さて、平成最後の年である本年の年頭に当たり、小菅村では「暮らし・健康・生きがいづくり」の3つの柱を立て村政を行ってまいりたいと考えています。

昨年末、社会福祉協議会の職員の皆さんが行っている「こすげ社協ワークショップ」五回目「こすげ社協がやりたい姿を描いた『キャンパス』を職員で共有する」に出席させ